

---

---

四国中央市 市民の意識と生活に関する  
アンケート調査 報告書

---

---

－ 概要版 －

令和6（2024）年7月  
愛媛県 四国中央市

## ～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 調査結果	2
1 現在の思いや意識	2
2 現在の暮らしの状況	4
3 将来に不安を感じる事	5
4 不安や悩み、ストレスの有無	6
5 あなたと家族・親族以外との関わり	7
6 孤独感の有無	8
7 外出頻度	9
8 「ひきこもり」の期間	9
9 「居心地の良い場所」について	10
10 暮らしやすさ	11
11 永住意向	12
12 希望する理想の子どもの人数	13
13 結婚する予定	14
14 結婚する要件	15
15 日常生活での関心事	17
16 行政やまちづくりに関する関心事	20
17 情報入手先	22
18 まちづくりに対して意見や思いを伝えることについて	24
19 「こども基本法」の認知状況	25
20 市に取り組んでもらいたいこと	26

# I 調査の概要

## 【調査の目的】

本調査は「四国中央市こども計画」の策定にあたり、16歳～39歳の市民に対し、ふだんの生活状況や要望、意見等を把握し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。

## 【調査設計】

調査地域：四国中央市全域

調査対象：16歳～39歳の市民

調査方法：郵送配布～郵送回収、インターネットによる回答

調査期間：令和6（2024）年6月

## 【回収結果】

配布数 ----- 1,000件

有効回収数 ----- 328件（郵送：132件、Web：196件）

有効回収率 ----- 32.8%

## 【地域別回収状況】（問1回答結果より）

	合計	川之江地域	三島地域	土居地域	新宮地域	無回答
構成比(%)	100.0	37.5	43.9	17.4	0.3	0.9
件数(件)	328	123	144	57	1	3

## 【報告書の見方について】

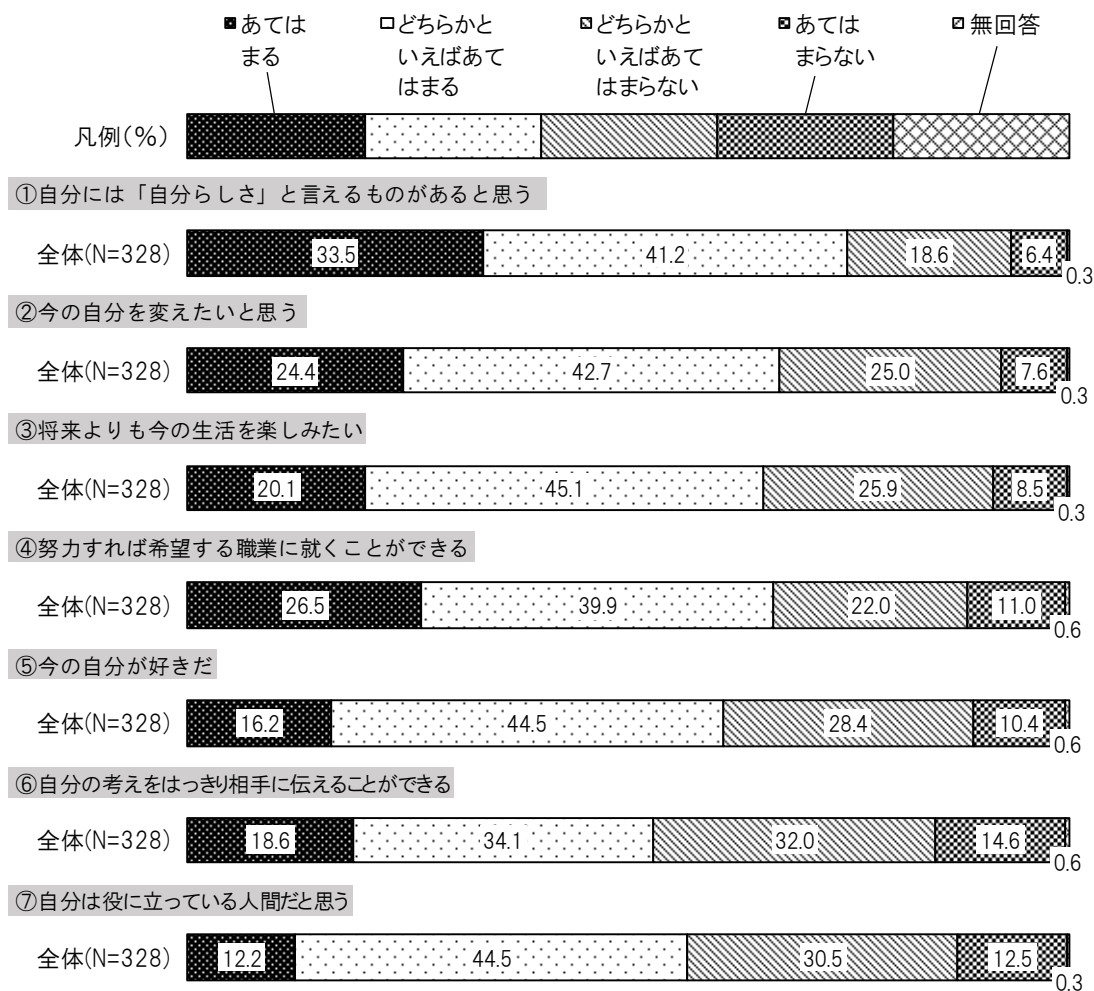
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における性別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、性別でクロス集計する場合における性別の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

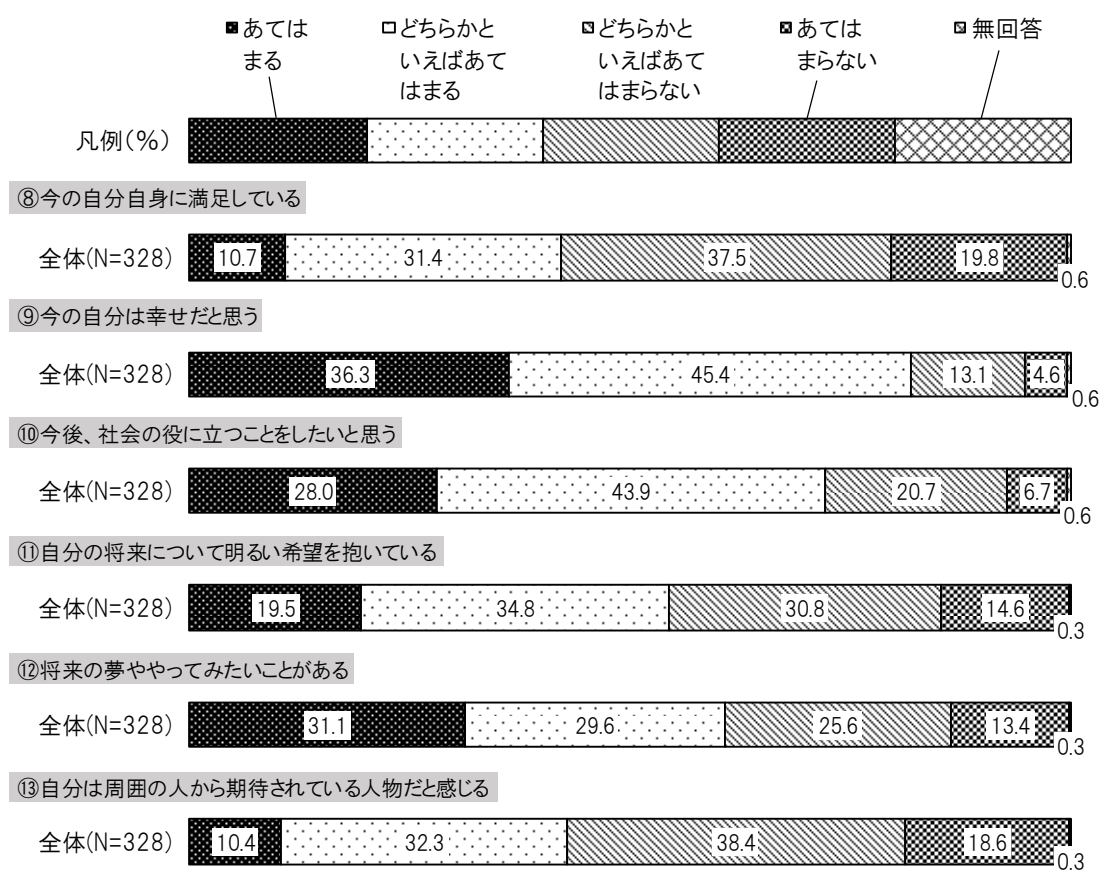
## II 調査結果

### 1 現在の思いや意識

現在の思いや意識については、『あてはまる』の割合（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計）が高い順に、「⑨今の自分は幸せだと思う」（81.7%）、「①自分には自分らしさと言えるものがあると思う」（74.7%）、「⑩今後、社会の役に立つことをしたいと思う」（71.9%）となっている。

一方、『あてはまらない』の割合（「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計）が高い順に、「⑧今の自分自身に満足している」（57.3%）、「⑬自分は周囲の人から期待されている人物だと感じる」（57.0%）となっている。



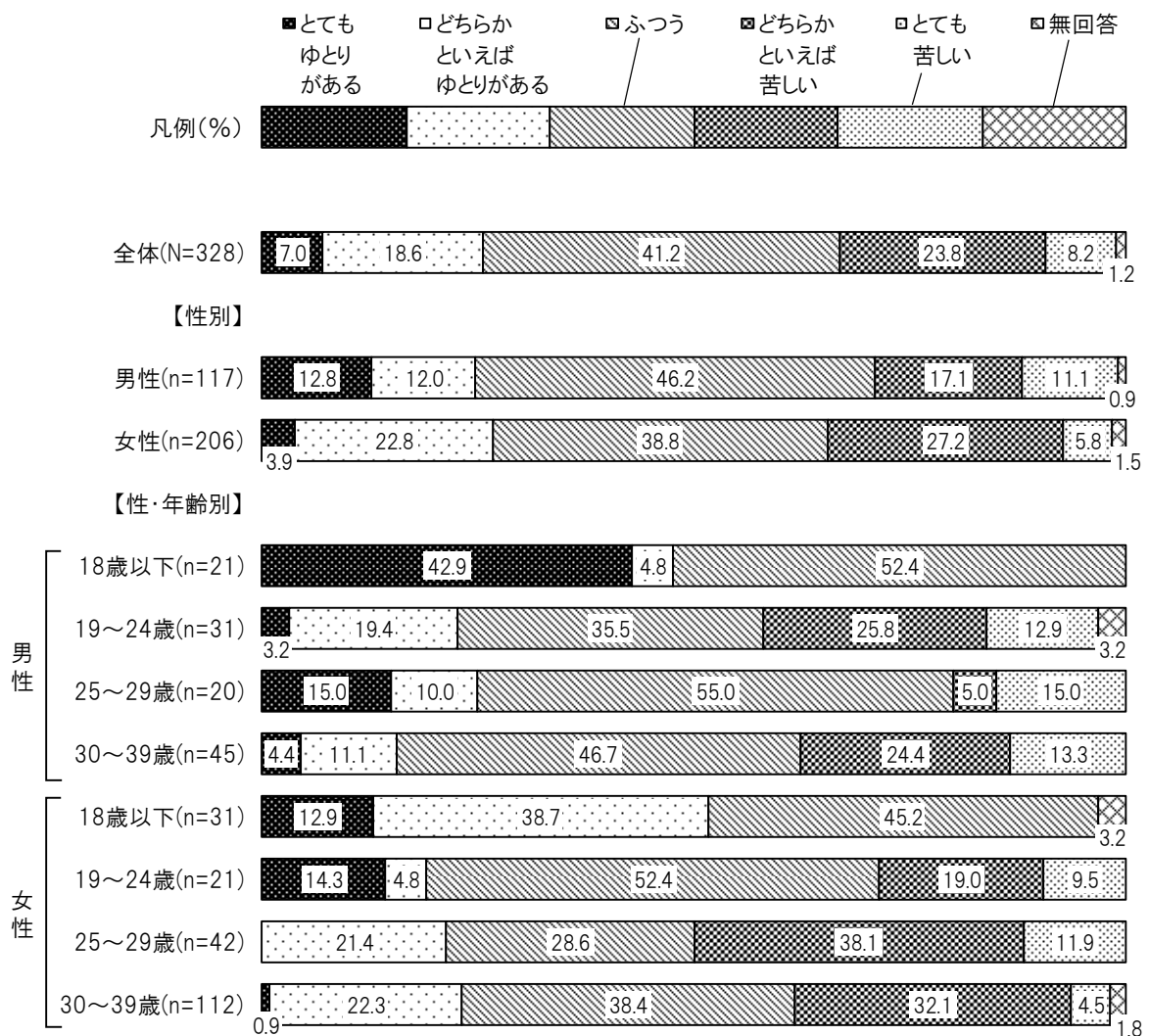


## 2 現在の暮らしの状況

現在の暮らしの状況については、「ふつう」が41.2%と最も高く、「どちらかといえば苦しい」(23.8%)、「とても苦しい」(8.2%)の合計割合が32.0%、「とてもゆとりがある」(7.0%)、「どちらかといえばゆとりがある」(18.6%)の合計割合が25.6%となっている。

性別では、男性は女性に比べて「とてもゆとりがある」の割合が高く、女性は「どちらかといえば苦しい」の割合が男性を大きく上回っている。

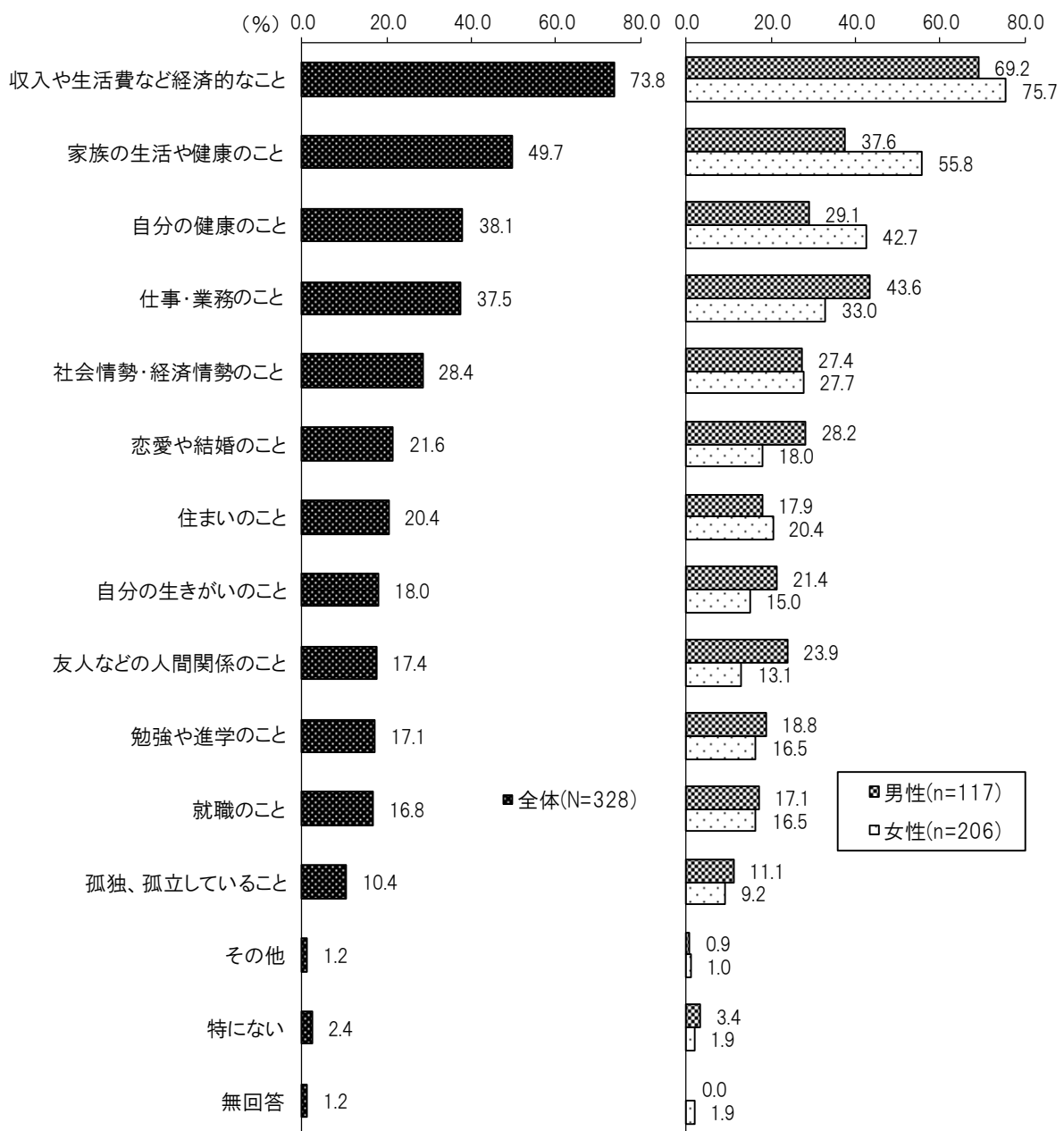
性・年齢別では、特に男性18歳以下で「とてもゆとりがある」の割合が高くなっている。一方、女性25歳以上で「どちらかといえば苦しい」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



### 3 将来に不安を感じること

将来に不安を感じることについては、「収入や生活費など経済的なこと」の割合が73.8%と最も高く、次いで「家族の生活や健康のこと」(49.7%)、「自分の健康のこと」(38.1%)、「仕事・業務のこと」(37.5%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「仕事・業務のこと」「恋愛や結婚のこと」「友人などの人間関係のこと」の割合が高く、女性は「家族の生活や健康のこと」「自分の健康のこと」の割合が男性を大きく上回っている。



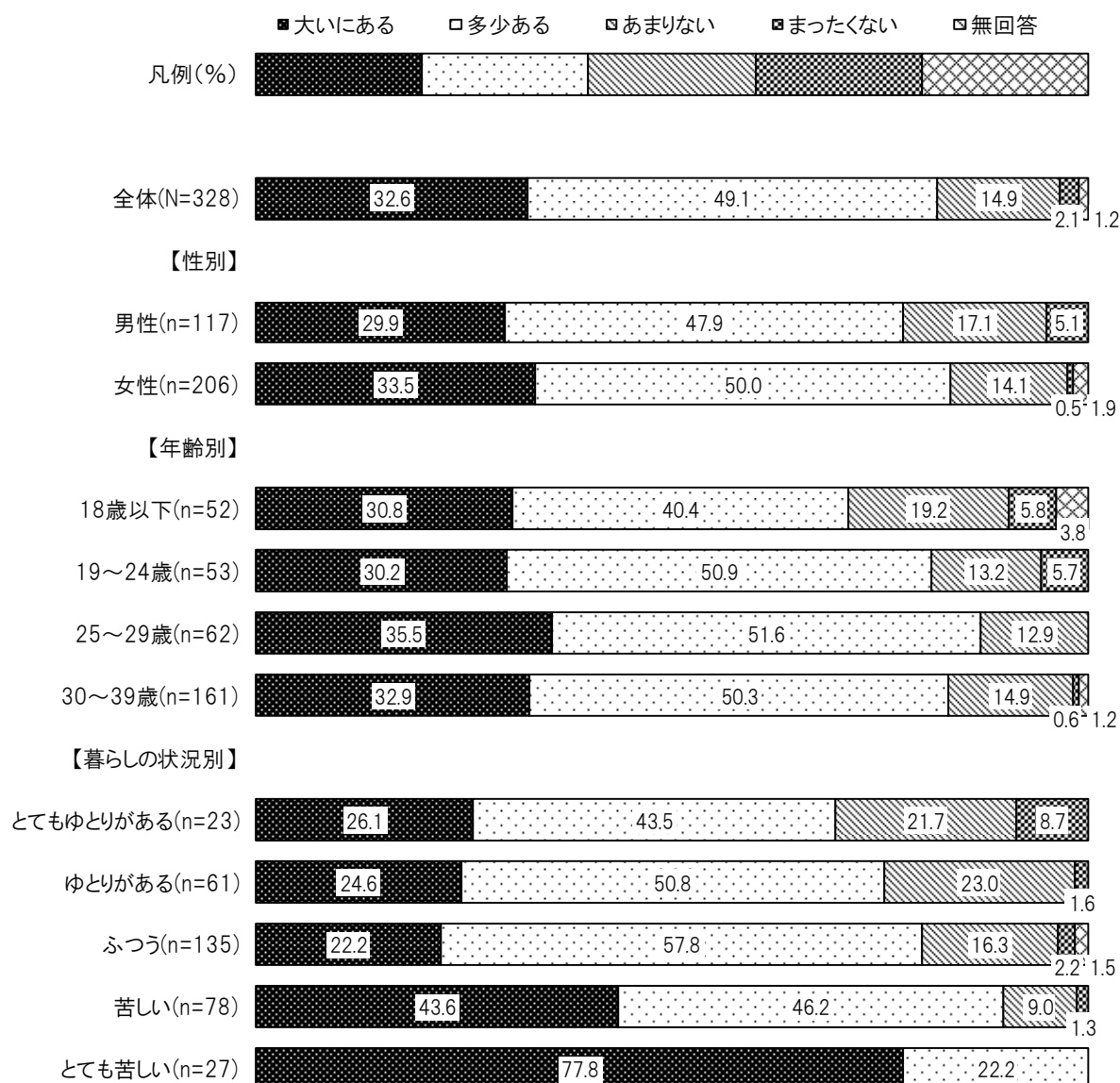
## 4 不安や悩み、ストレスの有無

不安や悩み、ストレスの有無については、「大いにある」(32.6%)、「多少ある」(49.1%)の合計割合が81.7%、「あまりない」(14.9%)、「まったくない」(2.1%)の合計割合が17.0%となっている。

性別では、男性は女性に比べて『ない(合計)』の割合がやや高く、女性は『ある(合計)』の割合が男性を上回っている。

年齢別では、18歳以下で『ない(合計)』、25～29歳で『ある(合計)』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

暮らしの状況別では、とても苦しい層で「大いにある」が約8割を占めている。

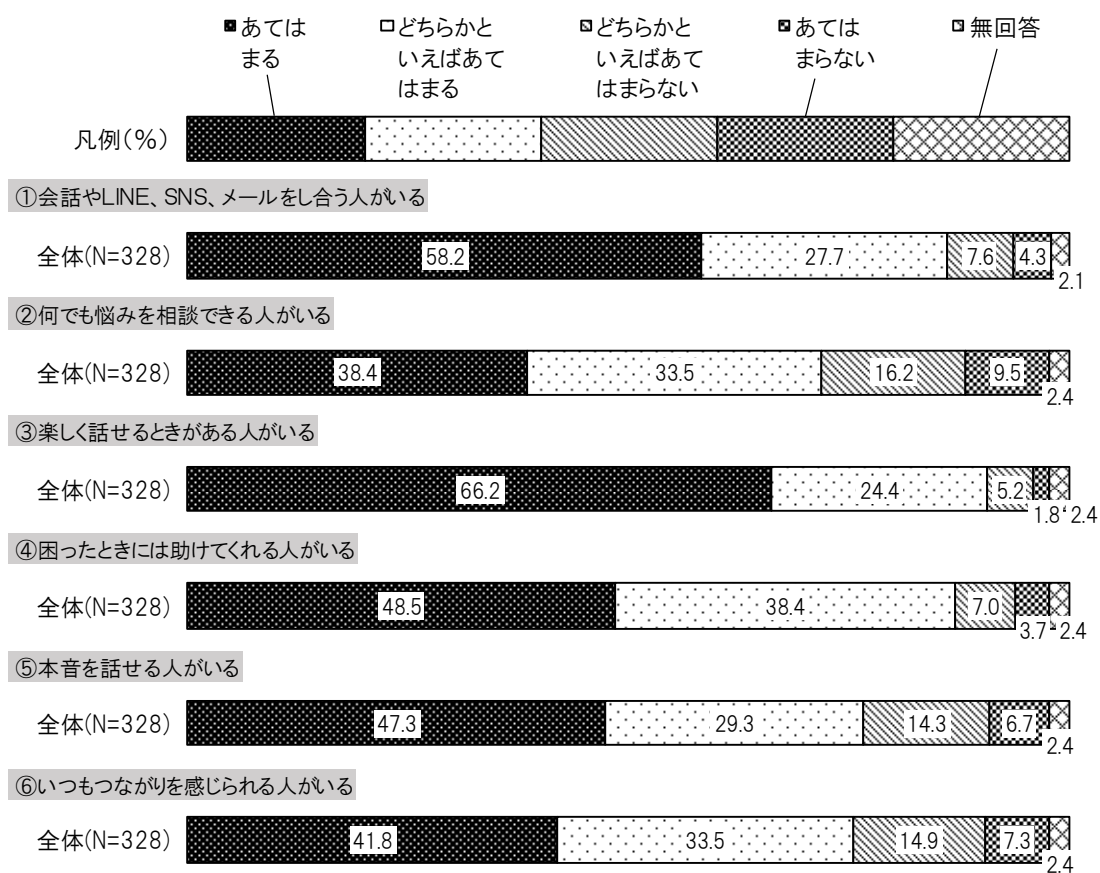




## 5 あなたと家族・親族以外との関わり

あなたと家族・親族以外との関わりについては、『あてはまる』の割合（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計）が高い順に、「③楽しく話せるときがある人がいる」（90.6%）、「④困ったときには助けてくれる人がいる」（86.9%）、「①会話やLINE、SNS、メールをし合う人がいる」（85.9%）となっている。

一方、『あてはまらない』の割合（「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計）が高い順に、「②何でも悩みを相談できる人がいる」（25.7%）、「⑥いつもつながりを感じられる人がいる」（22.2%）、「⑤本音を話せる人がいる」（21.0%）となっている。

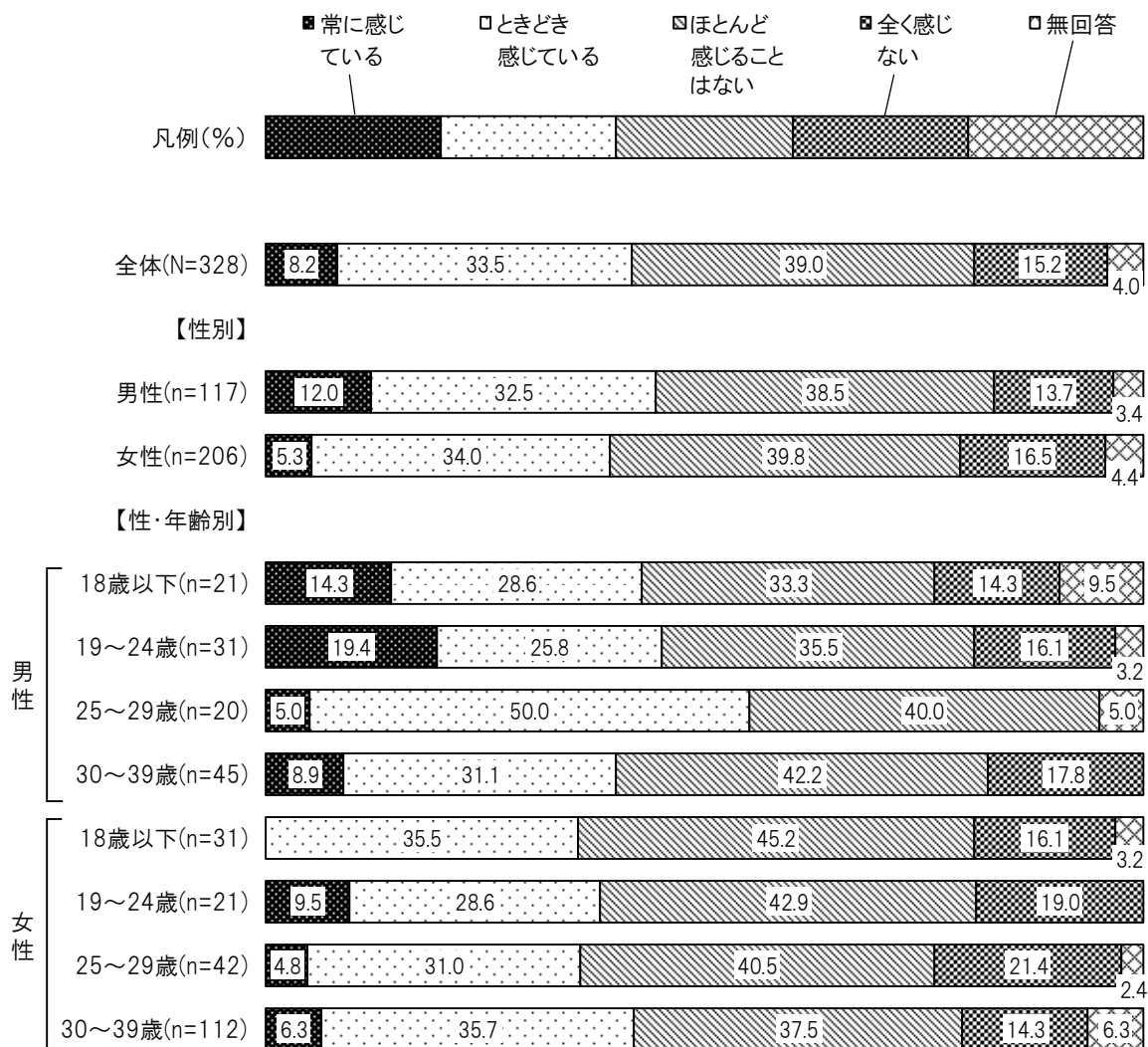


## 6 孤独感の有無

孤独感の有無については、「常を感じている」(8.2%)、「ときどき感じている」(33.5%)の合計割合が41.7%、「ほとんど感じることはない」(39.0%)、「全く感じない」(15.2%)の合計割合が54.2%となっている。

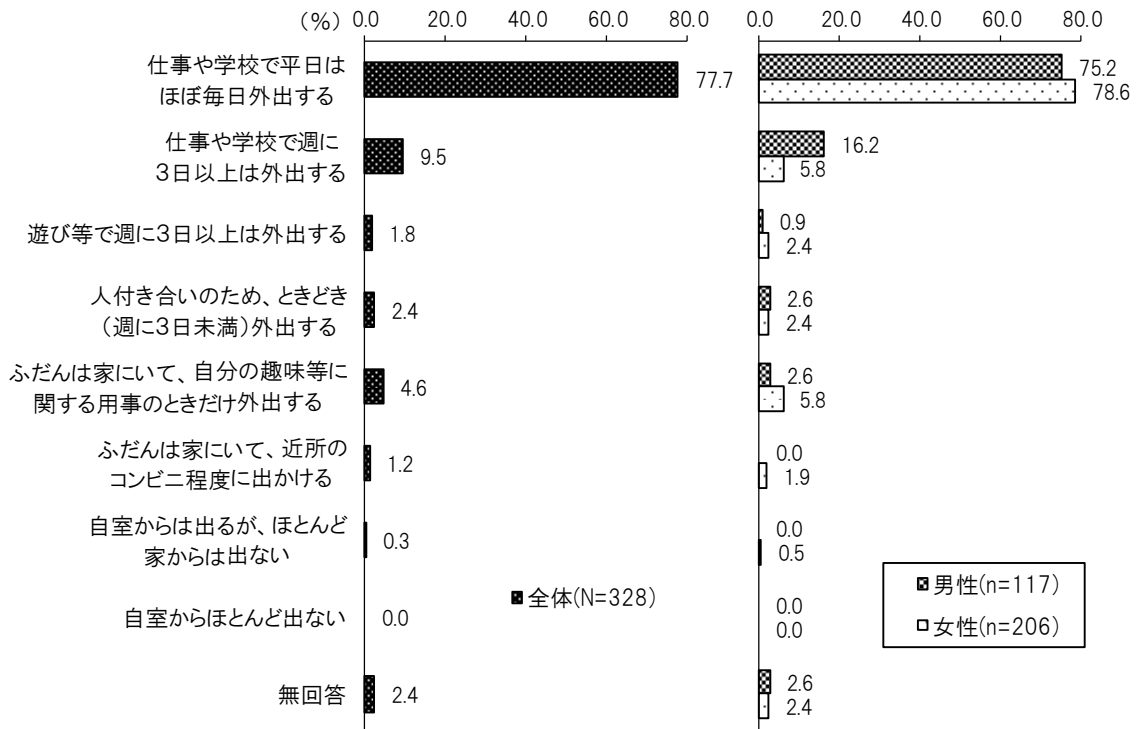
性別では、男性は女性に比べて「常を感じている」の割合が高く、女性は『感じない(合計)』の割合が男性を上回っている。

性・年齢別では、男性24歳以下で「常を感じている」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



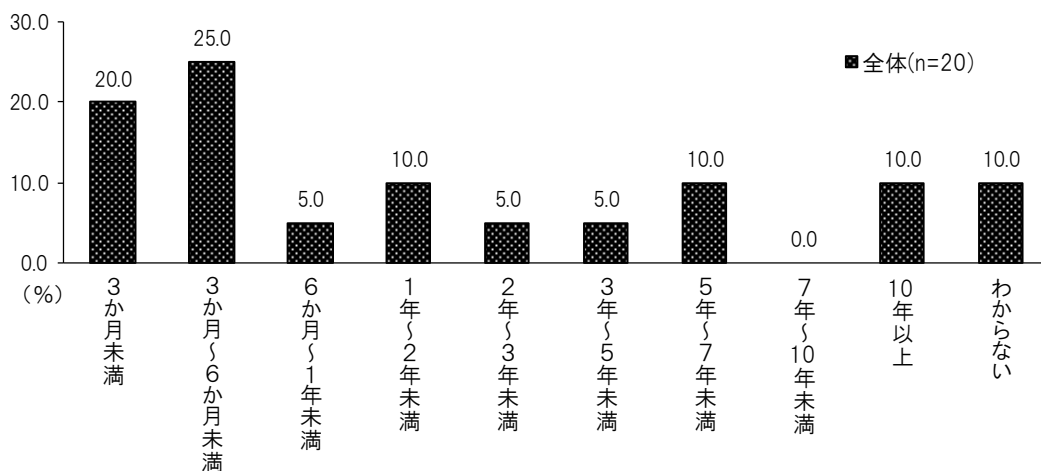
## 7 外出頻度

外出頻度については、大半（77.7%）が「仕事や学校で平日はほぼ毎日外出する」と回答しており、性別では、男性は女性に比べて「仕事や学校で週に3日以上は外出する」の割合が高くなっている。



## 8 「ひきこもり」の期間

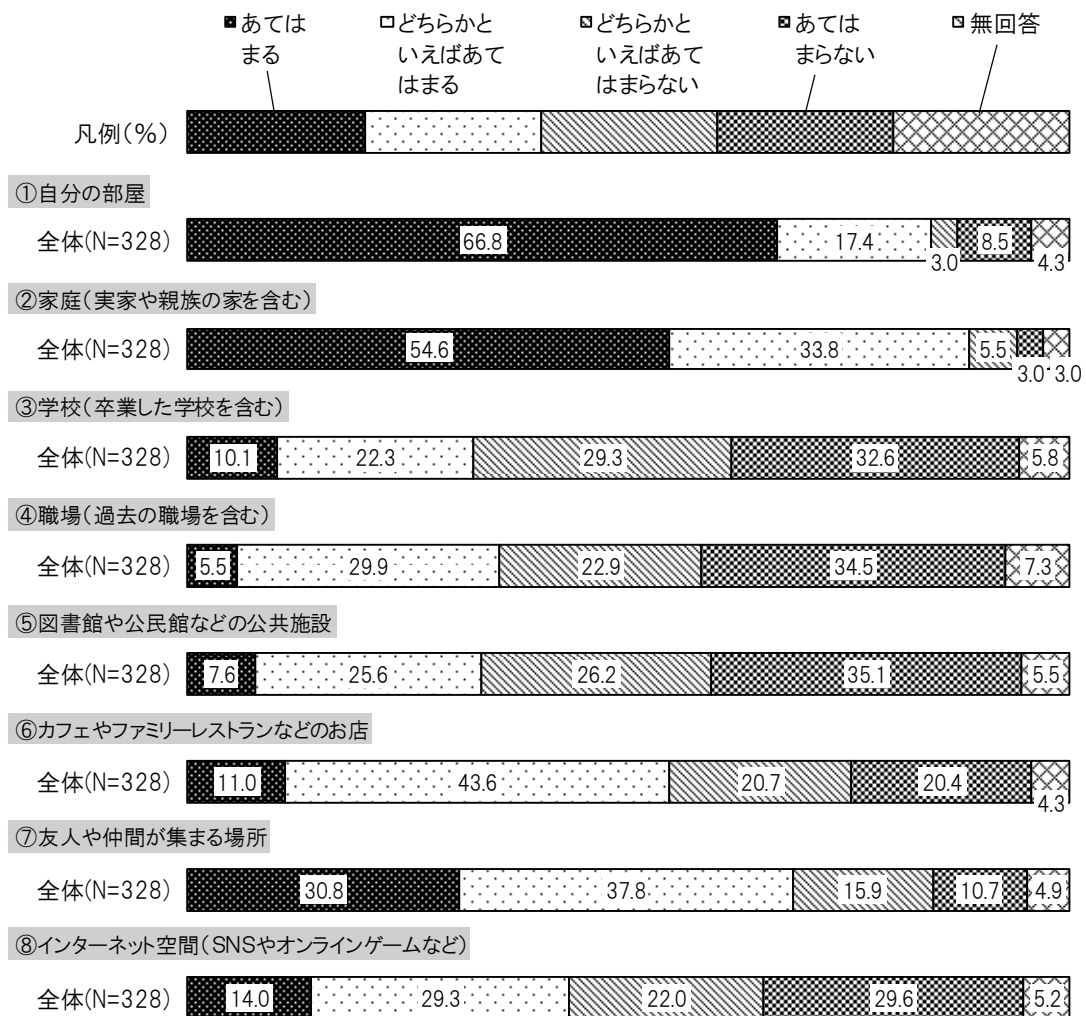
「ひきこもり」の期間については、「3か月～6か月未満」の割合が25.0%と最も高く、次いで「3か月未満」（20.0%）の順となっており、合計すると45.0%が『6か月未満』と回答している。また、『1年以上』は合計すると40.0%となっている。



## 9 「居心地の良い場所」について

「居心地の良い場所」については、『あてはまる』の割合（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計）が高い順に、「②家庭（実家や親族の家を含む）」（88.4%）、  
「①自分の部屋」（84.2%）、  
「⑦友人や仲間が集まる場所」（68.6%）となっている。

一方、『あてはまらない』の割合（「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計）が高い順に、「③学校（卒業した学校を含む）」（61.9%）、  
「⑤図書館や公民館などの公共施設」（61.3%）、  
「④職場（過去の職場を含む）」（57.4%）となっている。

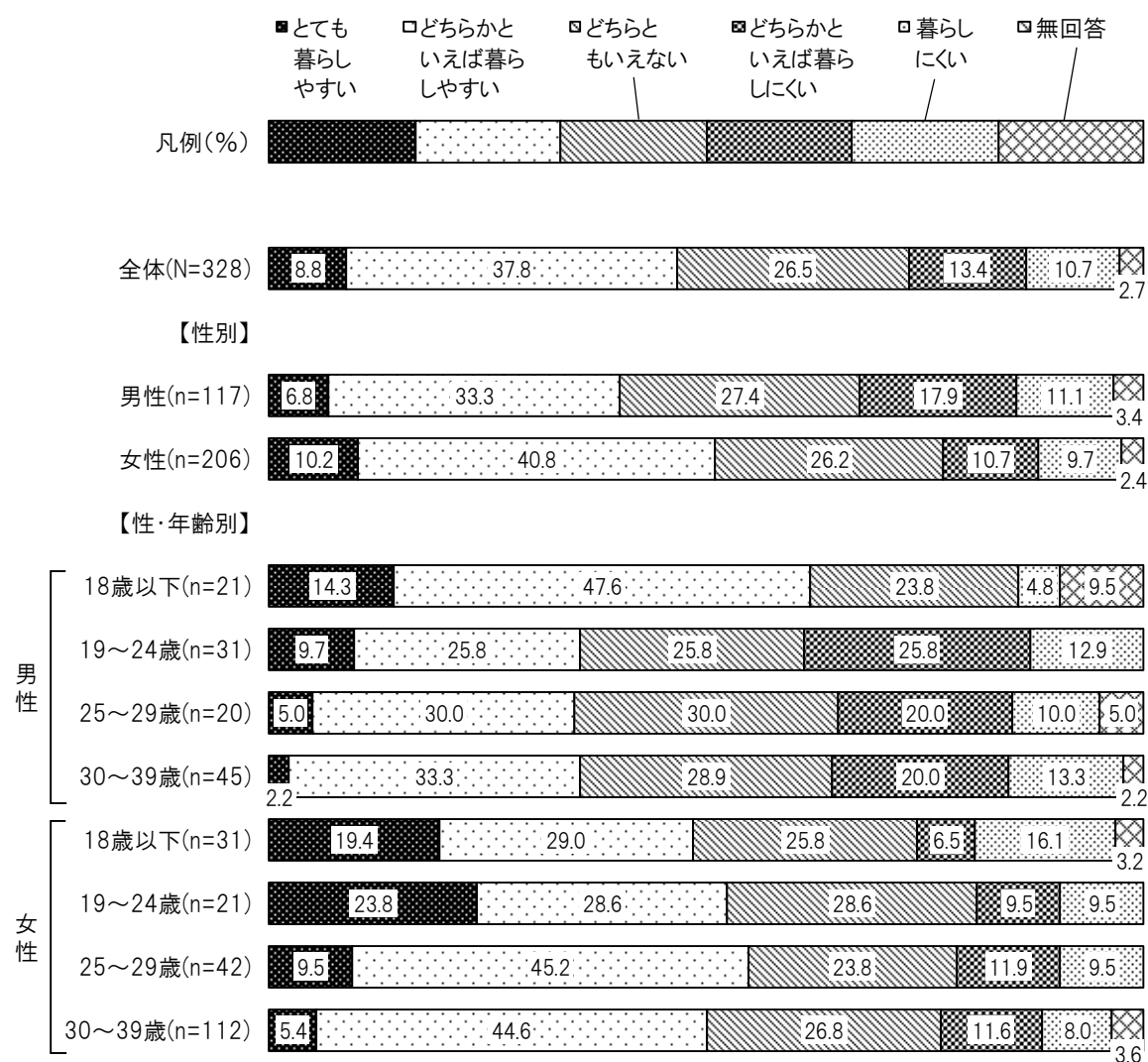


## 10 暮らしやすさ

暮らしやすさについては、「とても暮らしやすい」(8.8%)、「どちらかといえば暮らしやすい」(37.8%)の合計割合が46.6%、「どちらかといえば暮らしにくい」(13.4%)、「暮らしにくい」(10.7%)の合計割合が24.1%となっている。

性別では、男性は女性に比べて「どちらかといえば暮らしにくい」の割合が高く、女性は「どちらかといえば暮らしやすい」の割合が男性を上回っている。

性・年齢別では、男性19歳以上で『暮らしにくい(合計)』の割合が高く、女性24歳以下で「とても暮らしやすい」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

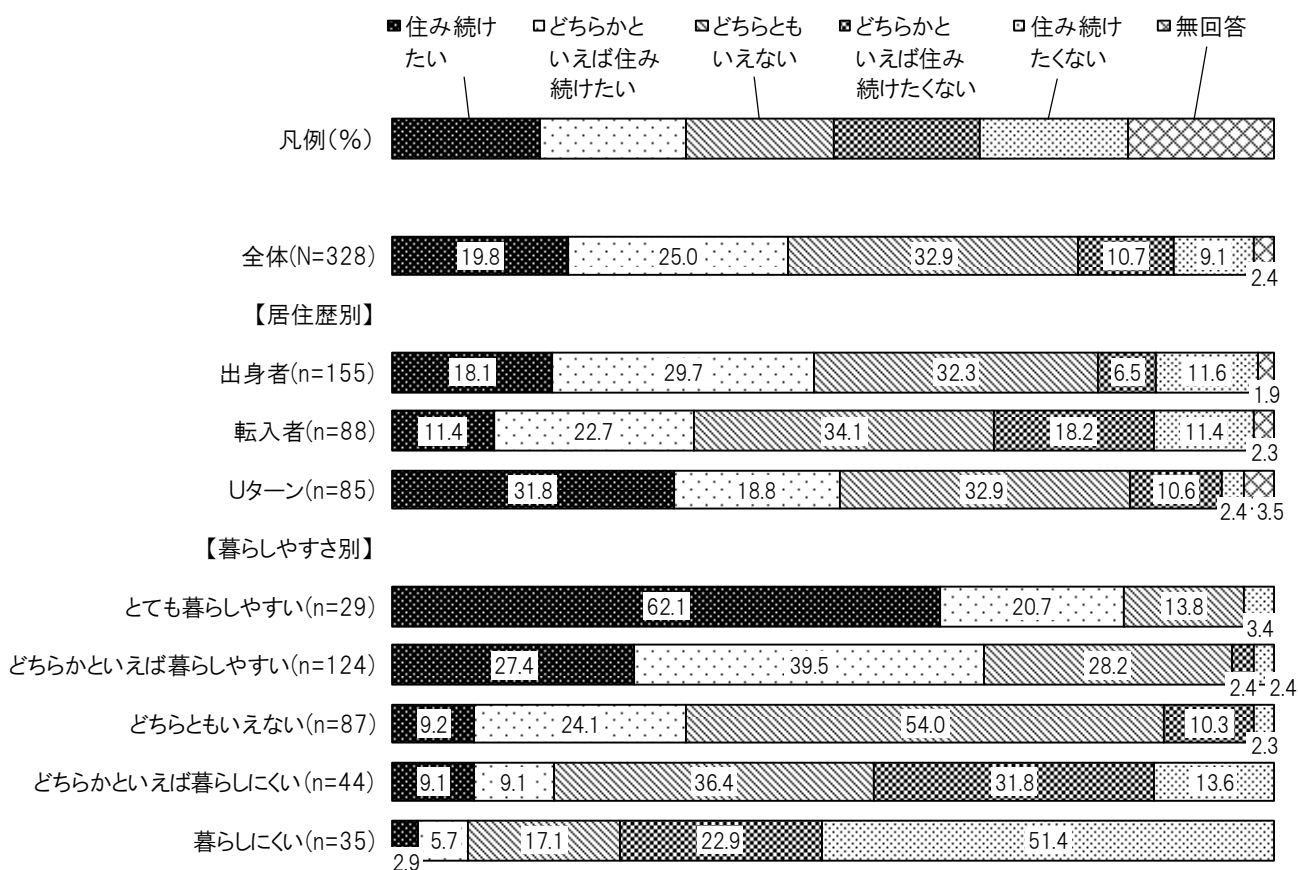


## 11 永住意向

永住意向については、「どちらともいえない」の割合が32.9%と最も高く、「住み続けたい」(19.8%)、「どちらかといえば住み続けたい」(25.0%)の合計割合が44.8%、「どちらかといえば住み続けたくない」(10.7%)、「住み続けたくない」(9.1%)の合計割合が19.8%となっている。

居住歴別では、Uターンの約3割が「住み続けたい」と回答しており、転入者で「どちらかといえば住み続けたくない」の割合が他の層に比べて高くなっている。

暮らしやすさ別では、とても暮らしやすいと感じている層の6割以上が「住み続けたい」と回答しており、暮らしにくいと感じている層の約半数が「住み続けたくない」と回答している。

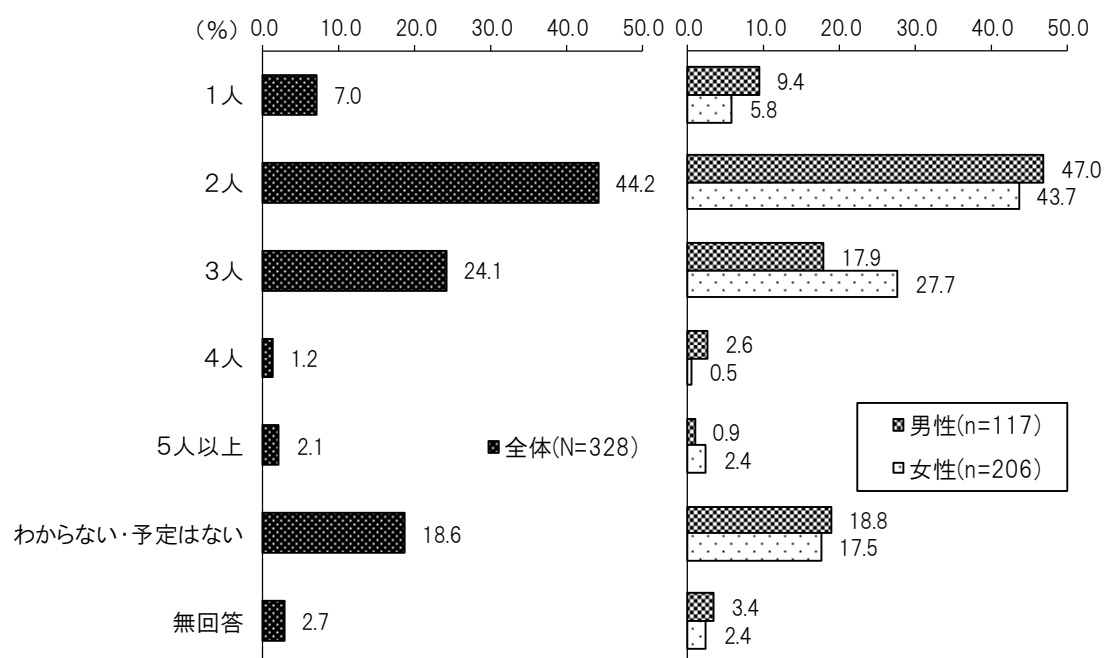


## 12 希望する理想の子どもの人数

希望する理想の子どもの人数については、「2人」の割合が44.2%と最も高く、次いで「3人」(24.1%)の順となっており、18.6%が「わからない・予定はない」と回答している。

性別では、女性は男性に比べて「3人」の割合が高くなっている。

性・年齢別では、男性18歳以下や男性25～29歳で「2人」、女性30～39歳で「3人」の割合がそれぞれ高くなっている。一方、男性25～29歳や女性19～24歳で「わからない・予定はない」の割合がともに高くなっている。



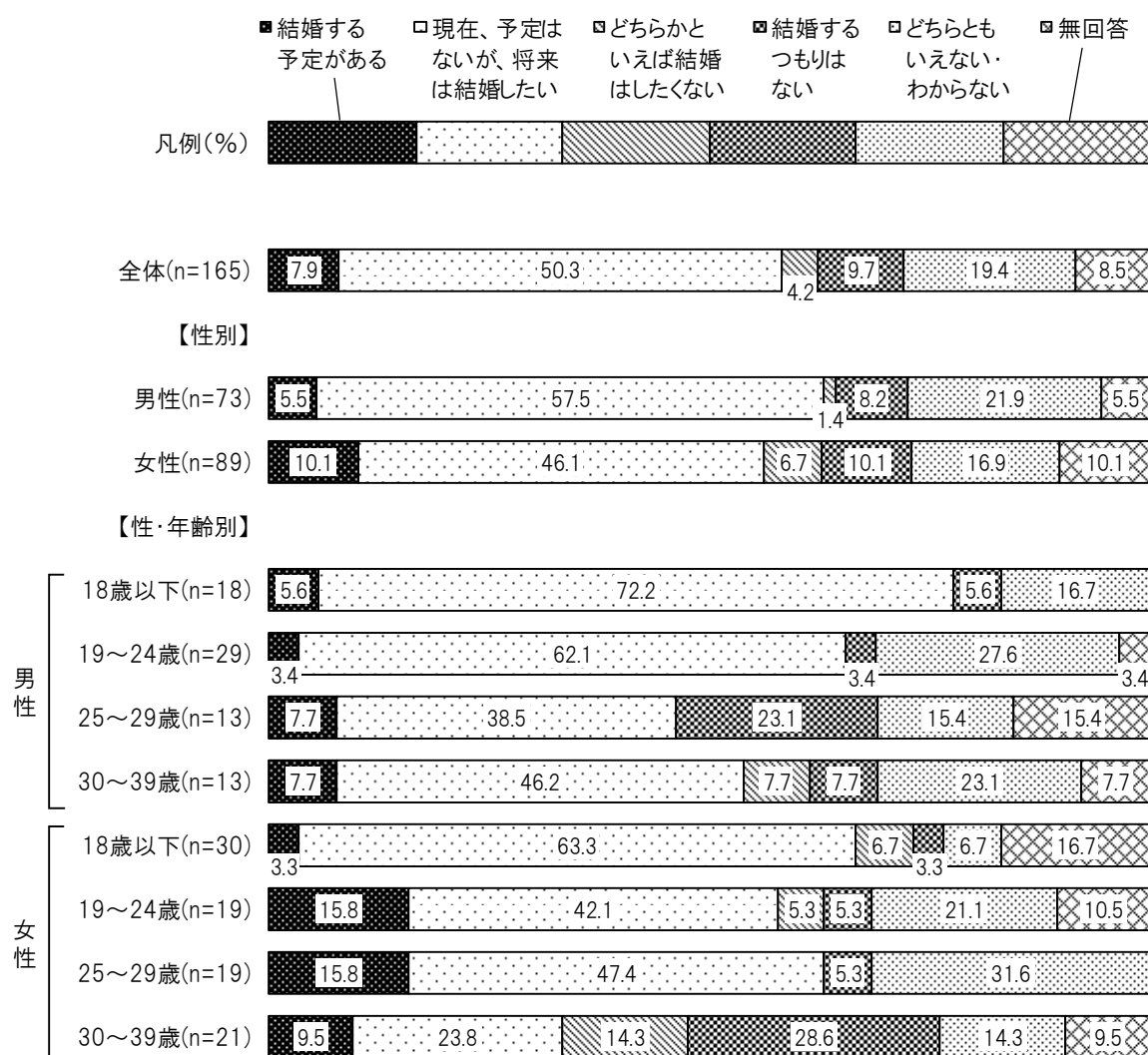
単位 (%)		1人	2人	3人	4人	5人以上	予わ 定は らな い・
全体(N=328)		7.0	44.2	24.1	1.2	2.1	18.6
【性・年齢別】							
男性	18歳以下(n=21)	9.5	52.4	19.0	0.0	0.0	9.5
	19～24歳(n=31)	12.9	41.9	12.9	3.2	0.0	25.8
	25～29歳(n=20)	0.0	55.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	30～39歳(n=45)	11.1	44.4	28.9	4.4	2.2	8.9
女性	18歳以下(n=31)	6.5	48.4	19.4	0.0	0.0	22.6
	19～24歳(n=21)	4.8	38.1	28.6	0.0	0.0	28.6
	25～29歳(n=42)	9.5	47.6	21.4	2.4	0.0	16.7
	30～39歳(n=112)	4.5	42.0	32.1	0.0	4.5	14.3

### 13 結婚する予定

結婚する予定については、「現在、予定はないが、将来は結婚したい」の割合が50.3%と最も高く、「どちらかといえば結婚はしたくない」(4.2%)、「結婚するつもりはない」(9.7%)の合計割合は13.9%となっている。

性別では、男性は女性に比べて「現在、予定はないが、将来は結婚したい」の割合が高く、女性は「どちらかといえば結婚はしたくない」の割合が男性をやや上回っている。

性・年齢別では、特に男性18歳以下で「現在、予定はないが、将来は結婚したい」の割合が高く、男性25～29歳や女性30～39歳で「結婚するつもりはない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

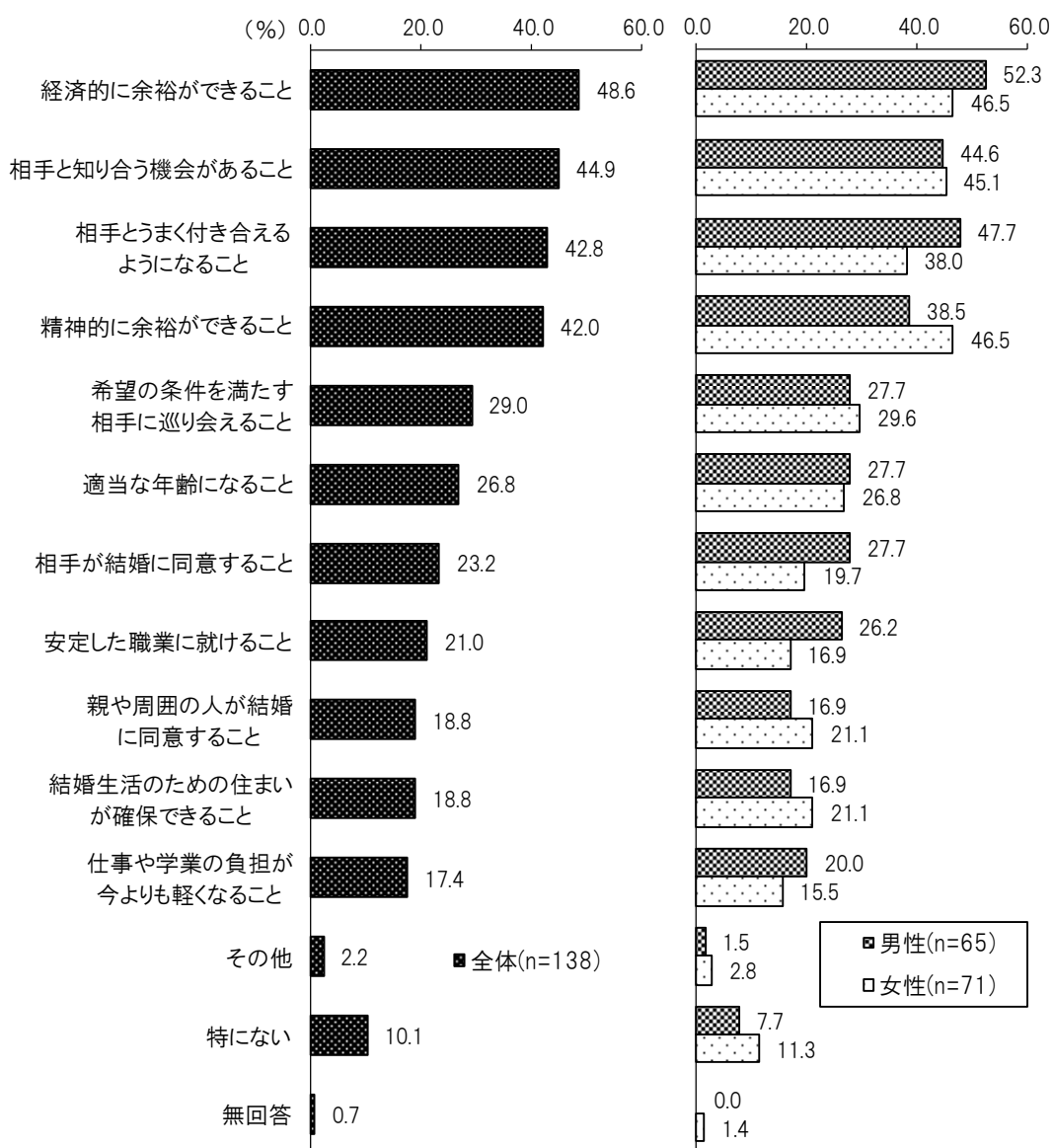




## 14 結婚する要件

結婚する要件については、「経済的に余裕ができること」の割合が48.6%と最も高く、次いで「相手と知り合う機会があること」(44.9%)、「相手とうまく付き合えるようになること」(42.8%)、「精神的に余裕ができること」(42.0%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「相手とうまく付き合えるようになること」「相手が結婚に同意すること」「安定した職業に就けること」の割合が高く、女性は「精神的に余裕ができること」の割合が男性を大きく上回っている。



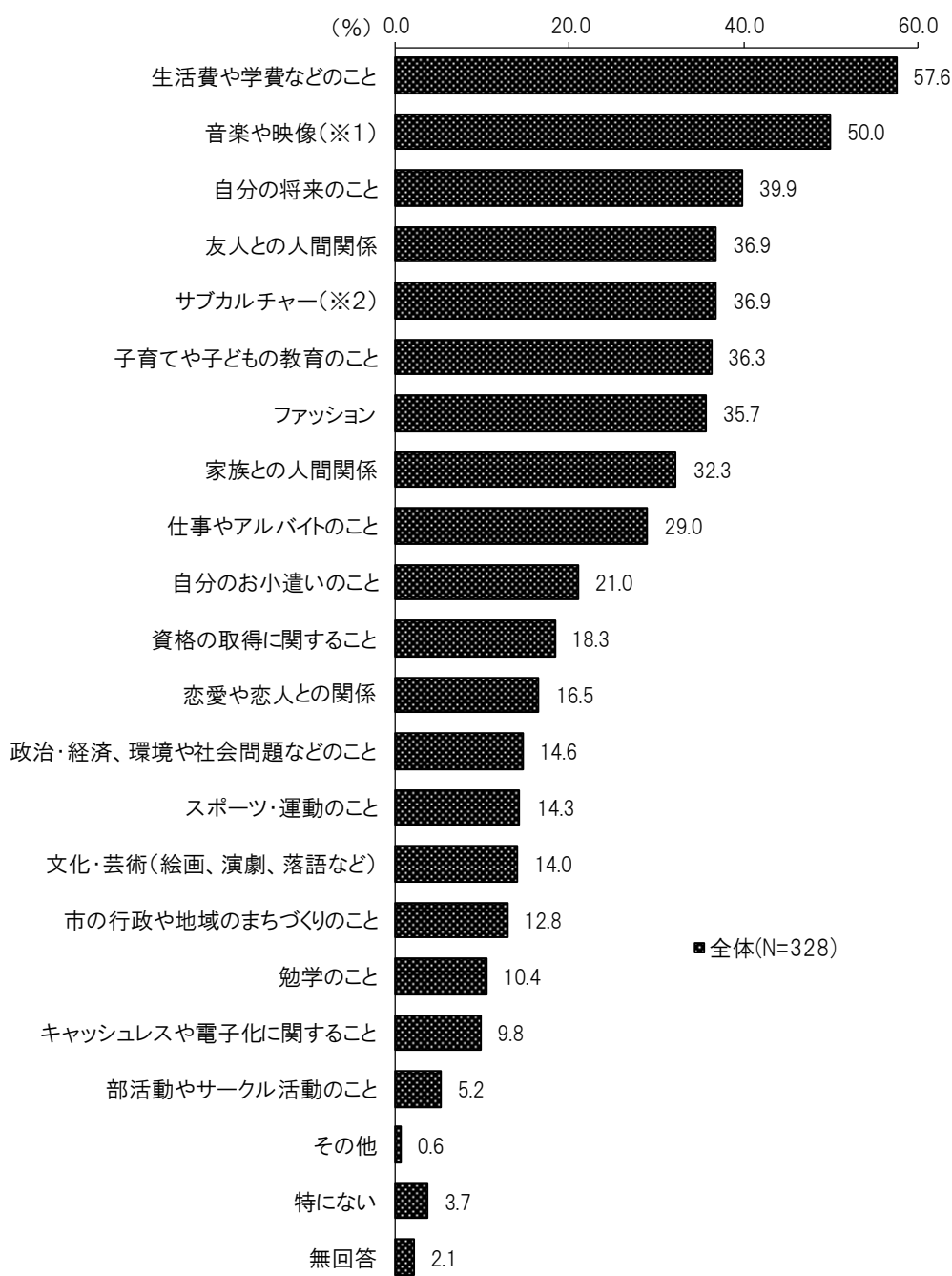
性・年齢別では、男性 30～39 歳や女性 25～29 歳で「経済的に余裕ができること」の割合が高くなっている。また、特に男性 18 歳以下で「相手とうまく付き合えるようになること」「安定した職業に就けること」「親や周囲の人が結婚に同意すること」の割合が高く、女性 18 歳以下で「適当な年齢になること」「結婚生活のための住まいが確保できること」の割合が、それぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)		経済的に余裕ができること	相手と知り合う機会があること	相手とうまく付き合えること	精神的に余裕ができること	相手に巡り会え満たす希望の条件を満たすこと	適当な年齢になること	相手が結婚に同意すること	安定した職業に就けること	親や周囲の人が結婚に同意すること
全体(n=138)		48.6	44.9	42.8	42.0	29.0	26.8	23.2	21.0	18.8
【性・年齢別】										
男性	18歳以下(n=17)	47.1	35.3	64.7	41.2	23.5	35.3	35.3	41.2	35.3
	19～24歳(n=27)	51.9	40.7	44.4	29.6	22.2	29.6	18.5	18.5	11.1
	25～29歳(n=10)	50.0	50.0	30.0	50.0	40.0	30.0	30.0	20.0	10.0
	30～39歳(n=11)	63.6	63.6	45.5	45.5	36.4	9.1	36.4	27.3	9.1
女性	18歳以下(n=24)	45.8	45.8	41.7	37.5	37.5	50.0	25.0	25.0	25.0
	19～24歳(n=14)	42.9	35.7	42.9	50.0	21.4	28.6	21.4	14.3	21.4
	25～29歳(n=16)	62.5	50.0	31.3	50.0	37.5	12.5	12.5	12.5	18.8
	30～39歳(n=17)	35.3	47.1	35.3	52.9	17.6	5.9	17.6	11.8	17.6

単位 (%)		とま結 い婚 が生 確活 保の でた め るの こ住	と今仕 よ事 りや も学 軽業 くの 負担 こが	そ の 他	特 に な い
全体(n=138)		18.8	17.4	2.2	10.1
【性・年齢別】					
男性	18歳以下(n=17)	23.5	17.6	0.0	0.0
	19～24歳(n=27)	11.1	22.2	0.0	11.1
	25～29歳(n=10)	20.0	20.0	10.0	10.0
	30～39歳(n=11)	18.2	18.2	0.0	9.1
女性	18歳以下(n=24)	29.2	20.8	0.0	4.2
	19～24歳(n=14)	21.4	14.3	0.0	21.4
	25～29歳(n=16)	18.8	6.3	6.3	0.0
	30～39歳(n=17)	11.8	17.6	5.9	23.5

## 15 日常生活での関心事

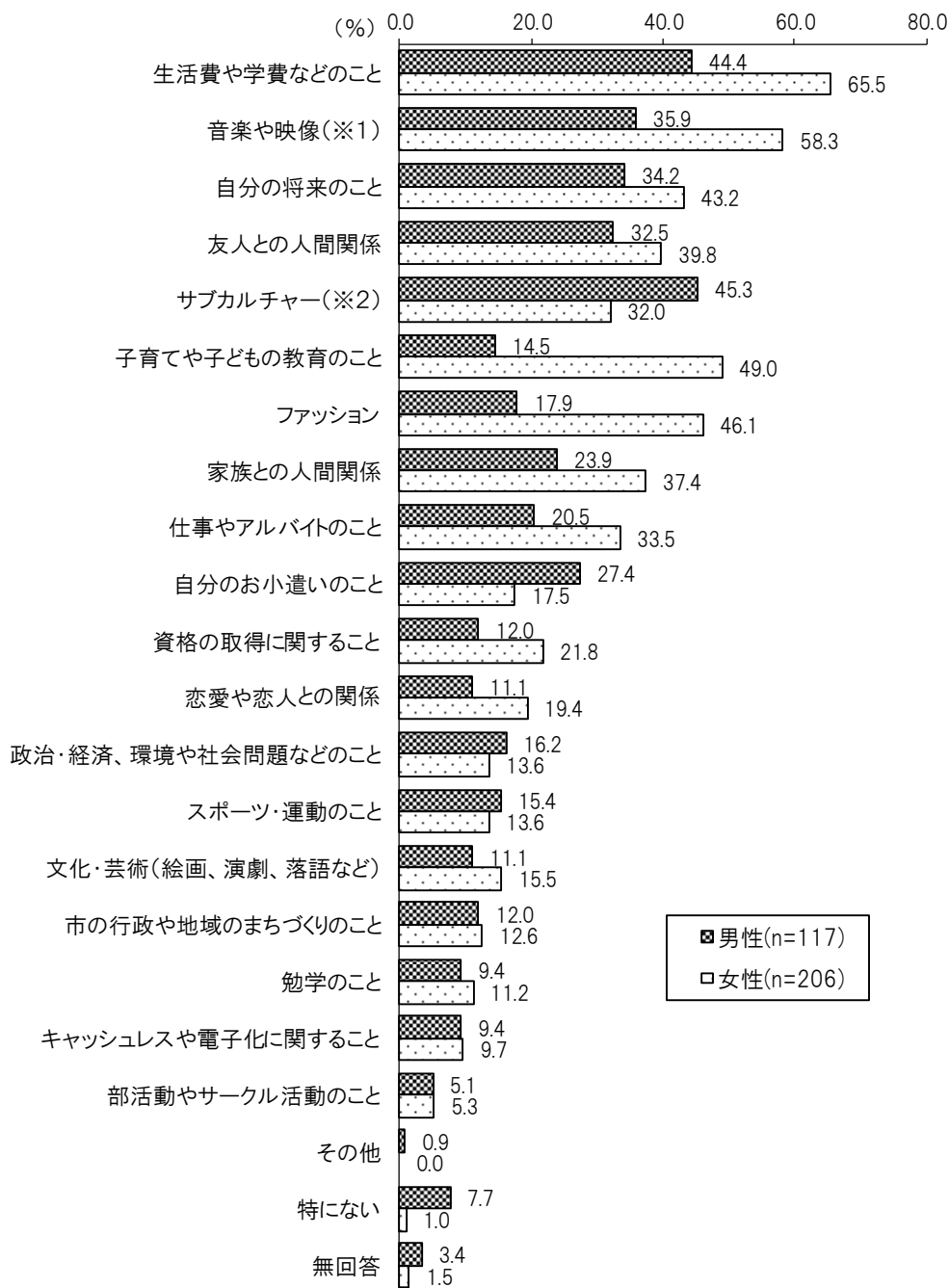
日常生活での関心事については、「生活費や学費などのこと」の割合が57.6%と最も高く、次いで「音楽や映像（コンサート、映画、テレビ、インターネット動画など）」（50.0%）、「自分の将来のこと」（39.9%）、「友人との人間関係」「サブカルチャー（漫画、アニメ、ゲームなど）」（各36.9%）、「子育てや子どもの教育のこと」（36.3%）の順となっている。



※1：音楽や映像（コンサート、映画、テレビ、インターネット動画など）

※2：サブカルチャー（漫画、アニメ、ゲームなど）

性別では、男性は女性に比べて「サブカルチャー（漫画、アニメ、ゲームなど）」「自分のお小遣いのこと」の割合が高く、女性は「生活費や学費などのこと」「音楽や映像（コンサート、映画、テレビ、インターネット動画など）」「子育てや子どもの教育のこと」「ファッション」などの割合が男性を大きく上回っている。



※1：音楽や映像（コンサート、映画、テレビ、インターネット動画など）  
 ※2：サブカルチャー（漫画、アニメ、ゲームなど）

性・年齢別では、男女18歳以下で「勉学のこと」の割合がともに高く、男性19～29歳で「自分のお小遣いのこと」「サブカルチャー（漫画、アニメ、ゲームなど）」、女性18歳以下で「友人との人間関係」「部活動やサークル活動のこと」、女性25～29歳で「仕事やアルバイトのこと」、女性30～39歳で「子育てや子どもの教育のこと」の割合が、それぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。また、女性の若い年齢層ほど「音楽や映像（コンサート、映画、テレビ、インターネット動画など）」「恋愛や恋人との関係」の割合が高くなっている。

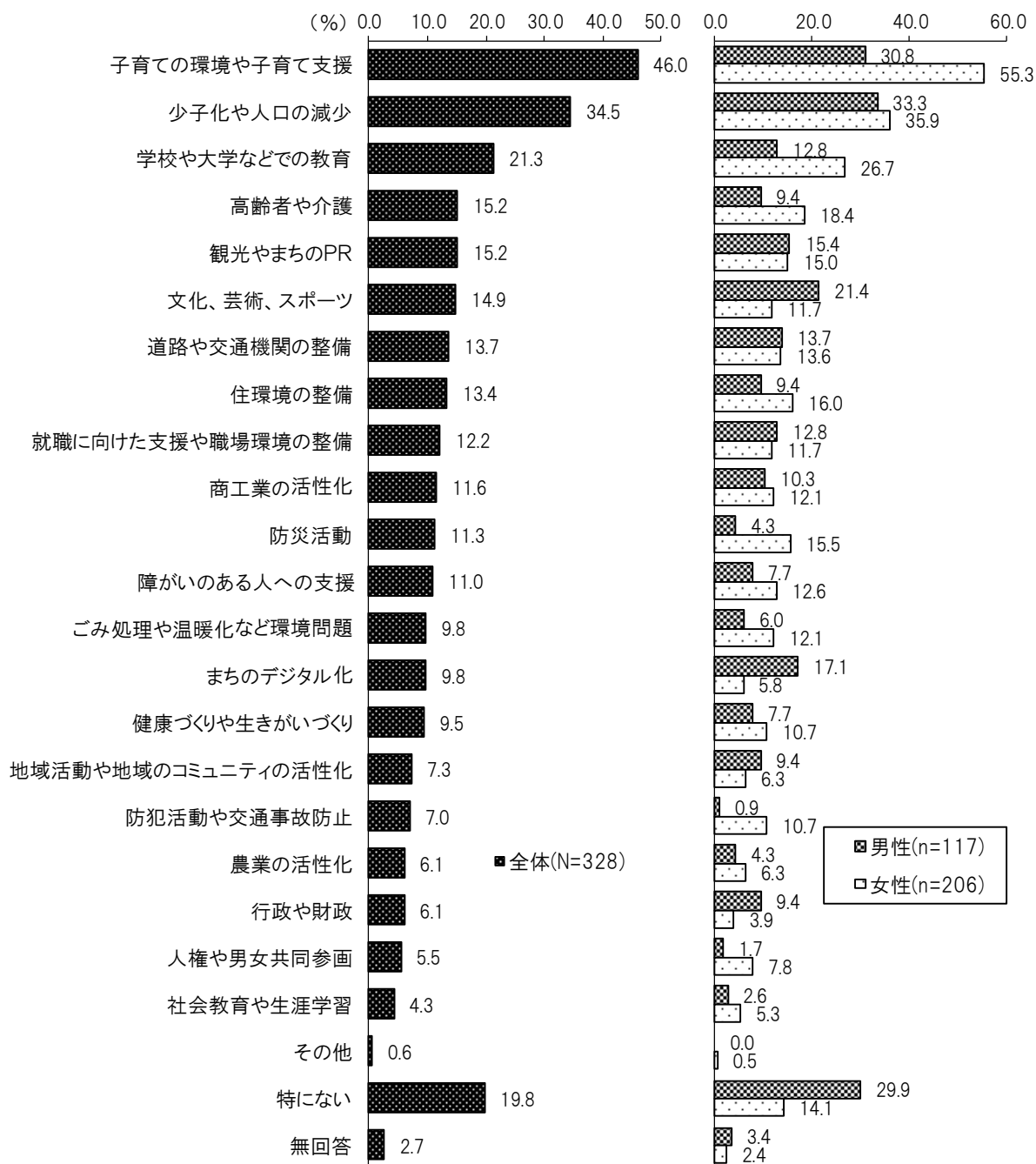
単位 (%)		生活費や学費などのこと	音楽や映像（コンサート、映画、テレビ、インターネット動画など）	自分の将来のこと	友人との人間関係	サブカルチャー（漫画、アニメ、ゲームなど）	子育てや子どもの教育のこと	ファッション	家族との人間関係	仕事やアルバイトのこと	自分のお小遣いのこと	資格の取得に関すること
全体(N=328)		57.6	50.0	39.9	36.9	36.9	36.3	35.7	32.3	29.0	21.0	18.3
【性・年齢別】												
男性	18歳以下(n=21)	19.0	42.9	47.6	38.1	38.1	4.8	23.8	19.0	9.5	19.0	4.8
	19～24歳(n=31)	41.9	35.5	29.0	41.9	51.6	6.5	22.6	29.0	29.0	35.5	16.1
	25～29歳(n=20)	50.0	35.0	35.0	25.0	55.0	5.0	15.0	5.0	15.0	35.0	10.0
	30～39歳(n=45)	55.6	33.3	31.1	26.7	40.0	28.9	13.3	31.1	22.2	22.2	13.3
女性	18歳以下(n=31)	45.2	87.1	54.8	67.7	48.4	12.9	51.6	25.8	29.0	19.4	22.6
	19～24歳(n=21)	47.6	76.2	57.1	42.9	23.8	23.8	52.4	28.6	23.8	19.0	23.8
	25～29歳(n=42)	71.4	54.8	54.8	31.0	21.4	45.2	54.8	35.7	45.2	19.0	23.8
	30～39歳(n=112)	72.3	48.2	33.0	34.8	33.0	65.2	40.2	42.9	32.1	16.1	20.5

単位 (%)		恋愛や恋人との関係	政治・経済、環境や社会問題などのこと	スポーツ・運動のこと	劇・文化・芸術（絵画、演落語など）	市の行政や地域のまちづくりのこと	勉学のこと	にキヤツシユレスや電子化に関すること	こと部活動やサークル活動のこと	その他	特にない
全体(N=328)		16.5	14.6	14.3	14.0	12.8	10.4	9.8	5.2	0.6	3.7
【性・年齢別】											
男性	18歳以下(n=21)	28.6	19.0	19.0	19.0	4.8	42.9	4.8	19.0	0.0	4.8
	19～24歳(n=31)	9.7	3.2	6.5	9.7	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	12.9
	25～29歳(n=20)	10.0	10.0	25.0	5.0	5.0	0.0	20.0	10.0	0.0	5.0
	30～39歳(n=45)	4.4	26.7	15.6	11.1	22.2	0.0	13.3	0.0	2.2	6.7
女性	18歳以下(n=31)	41.9	9.7	19.4	19.4	3.2	38.7	3.2	22.6	0.0	0.0
	19～24歳(n=21)	38.1	14.3	23.8	9.5	0.0	19.0	9.5	4.8	0.0	0.0
	25～29歳(n=42)	28.6	16.7	4.8	19.0	19.0	4.8	4.8	2.4	0.0	2.4
	30～39歳(n=112)	6.3	13.4	13.4	14.3	15.2	4.5	13.4	1.8	0.0	0.9

## 16 行政やまちづくりに関する関心事

行政やまちづくりに関する関心事については、「子育ての環境や子育て支援」の割合が46.0%と最も高く、次いで「少子化や人口の減少」（34.5%）、「学校や大学などでの教育」（21.3%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「文化、芸術、スポーツ」「まちのデジタル化」の割合が高く、女性は「子育ての環境や子育て支援」「学校や大学などでの教育」「防災活動」などの割合が男性を大きく上回っている。



性・年齢別では、男性 18 歳以下や男性 25～29 歳で「文化、芸術、スポーツ」、男性 19～24 歳で「就職に向けた支援や職場環境の整備」、男性 25 歳以上で「まちのデジタル化」の割合が高くなっている。また、女性 19～24 歳で「障がいのある人への支援」「地域活動や地域のコミュニティの活性化」、女性 24 歳以下で「人権や男女共同参画」、女性 25 歳以上で「子育ての環境や子育て支援」、女性 30～39 歳で「学校や大学などでの教育」の割合が、それぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

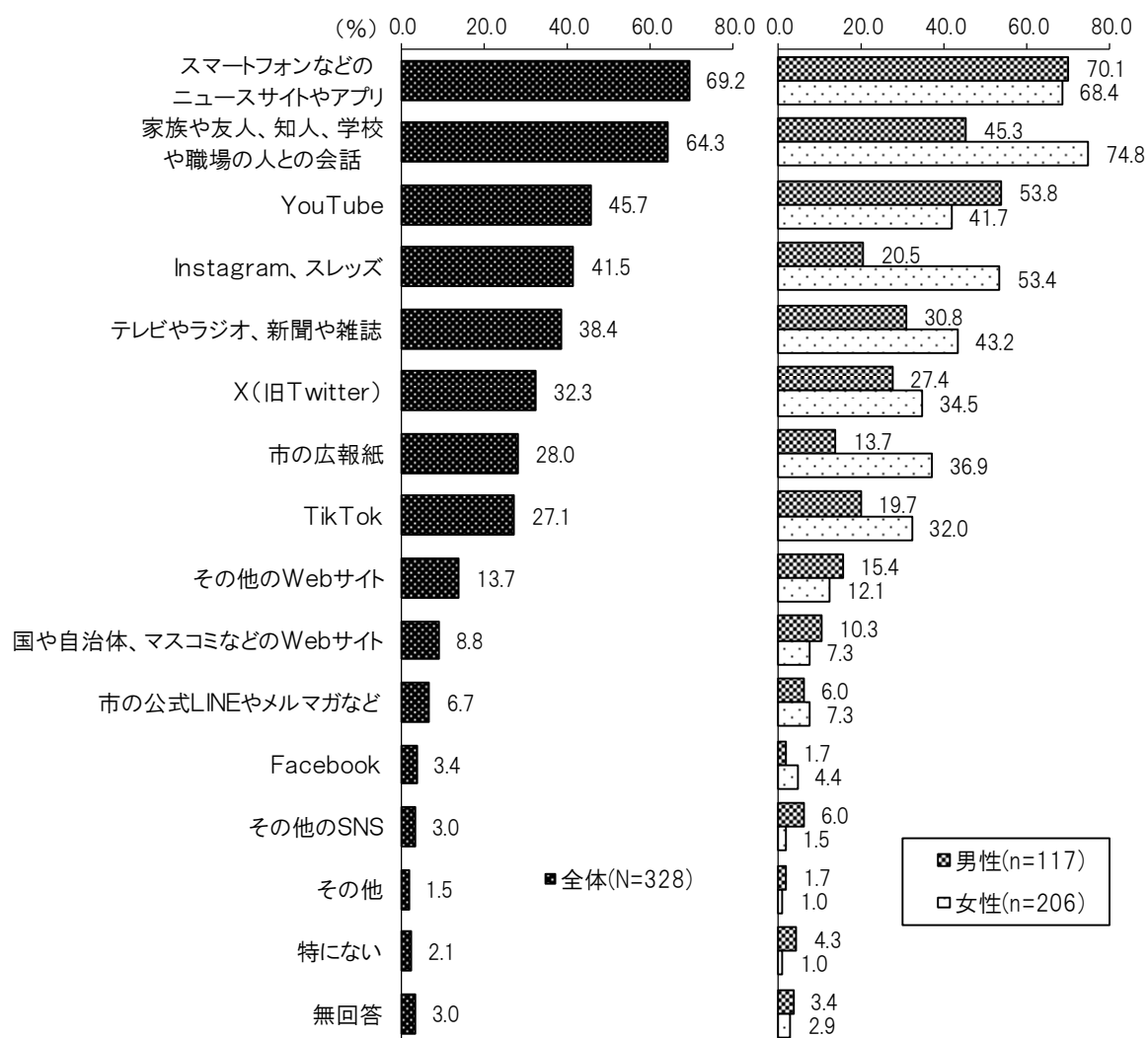
単位 (%)		子育ての環境や子育て	少子化や人口の減少	学校や大学などでの教育	高齢者や介護	観光やまちのPR	文化、芸術、スポーツ	道路や交通機関の整備	住環境の整備	就職に向けた支援や職場環境の整備	商工業の活性化	防災活動	障がいのある人への支援
全体(N=328)		46.0	34.5	21.3	15.2	15.2	14.9	13.7	13.4	12.2	11.6	11.3	11.0
【性・年齢別】													
男性	18歳以下(n=21)	14.3	23.8	9.5	0.0	23.8	28.6	9.5	0.0	9.5	9.5	4.8	4.8
	19～24歳(n=31)	12.9	32.3	9.7	16.1	6.5	19.4	9.7	3.2	22.6	3.2	0.0	12.9
	25～29歳(n=20)	25.0	35.0	5.0	15.0	15.0	30.0	10.0	5.0	10.0	5.0	5.0	5.0
	30～39歳(n=45)	53.3	37.8	20.0	6.7	17.8	15.6	20.0	20.0	8.9	17.8	6.7	6.7
女性	18歳以下(n=31)	25.8	32.3	19.4	6.5	16.1	19.4	16.1	9.7	6.5	9.7	9.7	6.5
	19～24歳(n=21)	38.1	38.1	9.5	23.8	14.3	4.8	9.5	14.3	19.0	4.8	4.8	23.8
	25～29歳(n=42)	57.1	31.0	19.0	9.5	16.7	16.7	11.9	7.1	7.1	4.8	11.9	4.8
	30～39歳(n=112)	66.1	38.4	34.8	24.1	14.3	8.9	14.3	21.4	13.4	17.0	20.5	15.2

単位 (%)		ごみ処理や温暖化など環境問題	まちのデジタル化	健康づくりや生きがい	地域活動や地域の活性化	防犯活動や交通事故防止	農業の活性化	行政や財政	人権や男女共同参画	社会教育や生涯学習	その他	特になし
全体(N=328)		9.8	9.8	9.5	7.3	7.0	6.1	6.1	5.5	4.3	0.6	19.8
【性・年齢別】												
男性	18歳以下(n=21)	4.8	0.0	0.0	9.5	0.0	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	28.6
	19～24歳(n=31)	3.2	9.7	9.7	3.2	0.0	3.2	3.2	3.2	3.2	0.0	45.2
	25～29歳(n=20)	5.0	25.0	5.0	5.0	5.0	5.0	10.0	0.0	5.0	0.0	30.0
	30～39歳(n=45)	8.9	26.7	11.1	15.6	0.0	4.4	13.3	2.2	2.2	0.0	20.0
女性	18歳以下(n=31)	19.4	12.9	9.7	6.5	0.0	0.0	0.0	19.4	0.0	0.0	22.6
	19～24歳(n=21)	4.8	9.5	4.8	19.0	4.8	4.8	0.0	19.0	4.8	0.0	28.6
	25～29歳(n=42)	7.1	4.8	9.5	2.4	9.5	4.8	2.4	2.4	4.8	2.4	11.9
	30～39歳(n=112)	13.4	3.6	12.5	5.4	15.2	8.9	6.3	4.5	7.1	0.0	9.8

## 17 情報入手先

情報入手先については、「スマートフォンなどのニュースサイトやアプリ」の割合が69.2%と最も高く、次いで「家族や友人、知人、学校や職場の人との会話」(64.3%)、「YouTube」(45.7%)、「Instagram、スレズ」(41.5%)、「テレビやラジオ、新聞や雑誌」(38.4%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「YouTube」の割合が高く、女性は「家族や友人、知人、学校や職場の人との会話」「Instagram、スレズ」「テレビやラジオ、新聞や雑誌」「市の広報紙」「TikTok」などの割合が男性を大きく上回っている。





性・年齢別では、男性19～29歳で「YouTube」、男性25～29歳で「その他のWebサイト」、女性18歳以下で「家族や友人、知人、学校や職場の人との会話」、女性24歳以下で「TikTok」、女性30～39歳で「市の広報紙」の割合が、それぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)		リニスマ ユース ストフ オン やア プの	校家 や族 職や 場友 の人 と、 知 人、 学	Y o u T u b e	ス レ ッ ズ I n s t a g r a m、	や テ レ ビ や ラ ジ オ、 新 聞	r X ( 旧 T w i t t e r)	市 の 広 報 紙	T i k T o k	そ の 他 の W e b サ イ ト
全体(N=328)		69.2	64.3	45.7	41.5	38.4	32.3	28.0	27.1	13.7
【性・年齢別】										
男性	18歳以下(n=21)	61.9	38.1	42.9	14.3	28.6	19.0	4.8	28.6	0.0
	19～24歳(n=31)	71.0	45.2	61.3	38.7	32.3	45.2	6.5	29.0	22.6
	25～29歳(n=20)	70.0	40.0	60.0	15.0	25.0	35.0	10.0	25.0	30.0
	30～39歳(n=45)	73.3	51.1	51.1	13.3	33.3	15.6	24.4	6.7	11.1
女性	18歳以下(n=31)	71.0	87.1	45.2	58.1	45.2	41.9	12.9	54.8	12.9
	19～24歳(n=21)	76.2	61.9	57.1	57.1	42.9	42.9	38.1	57.1	4.8
	25～29歳(n=42)	59.5	71.4	38.1	54.8	28.6	35.7	31.0	28.6	11.9
	30～39歳(n=112)	69.6	75.0	39.3	50.9	48.2	30.4	45.5	22.3	13.4

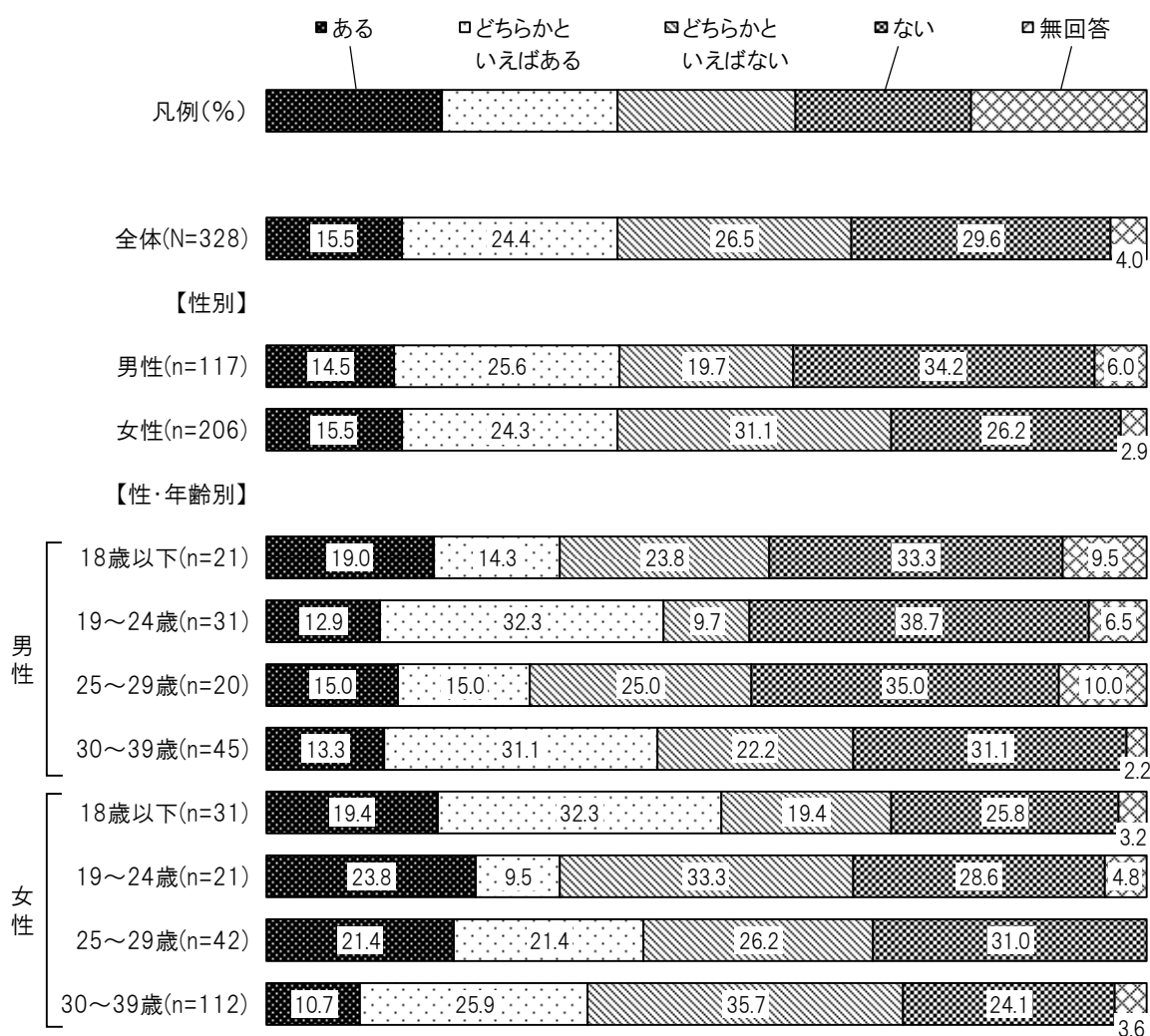
単位 (%)		な 国 の W e b サ イ ト ミ コ ミ	ル 市 マ ガ な ど の 公 式 L I N E や メ	F a c e b o o k	そ の 他 の S N S	そ の 他	特 に な い
全体(N=328)		8.8	6.7	3.4	3.0	1.5	2.1
【性・年齢別】							
男性	18歳以下(n=21)	4.8	4.8	0.0	0.0	4.8	4.8
	19～24歳(n=31)	16.1	3.2	3.2	16.1	0.0	6.5
	25～29歳(n=20)	5.0	5.0	0.0	10.0	0.0	5.0
	30～39歳(n=45)	11.1	8.9	2.2	0.0	2.2	2.2
女性	18歳以下(n=31)	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19～24歳(n=21)	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25～29歳(n=42)	9.5	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4
	30～39歳(n=112)	6.3	12.5	8.0	1.8	1.8	0.9

## 18 まちづくりに対して意見や思いを伝えることについて

まちづくりに対して意見や思いを伝えたいことがあるかについては、「ある」(15.5%)、「どちらかといえばある」(24.4%)の合計割合が39.9%、「どちらかといえばない」(26.5%)、「ない」(29.6%)の合計割合が56.1%となっている。

性別では、男性は女性に比べて「ない」の割合が高く、女性は「どちらかといえばない」の割合が男性を大きく上回っている。

性・年齢別では、男性18歳以下や男性25～29歳で『ある(合計)』の割合が低くなっている。一方、女性18歳以下で『ある(合計)』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

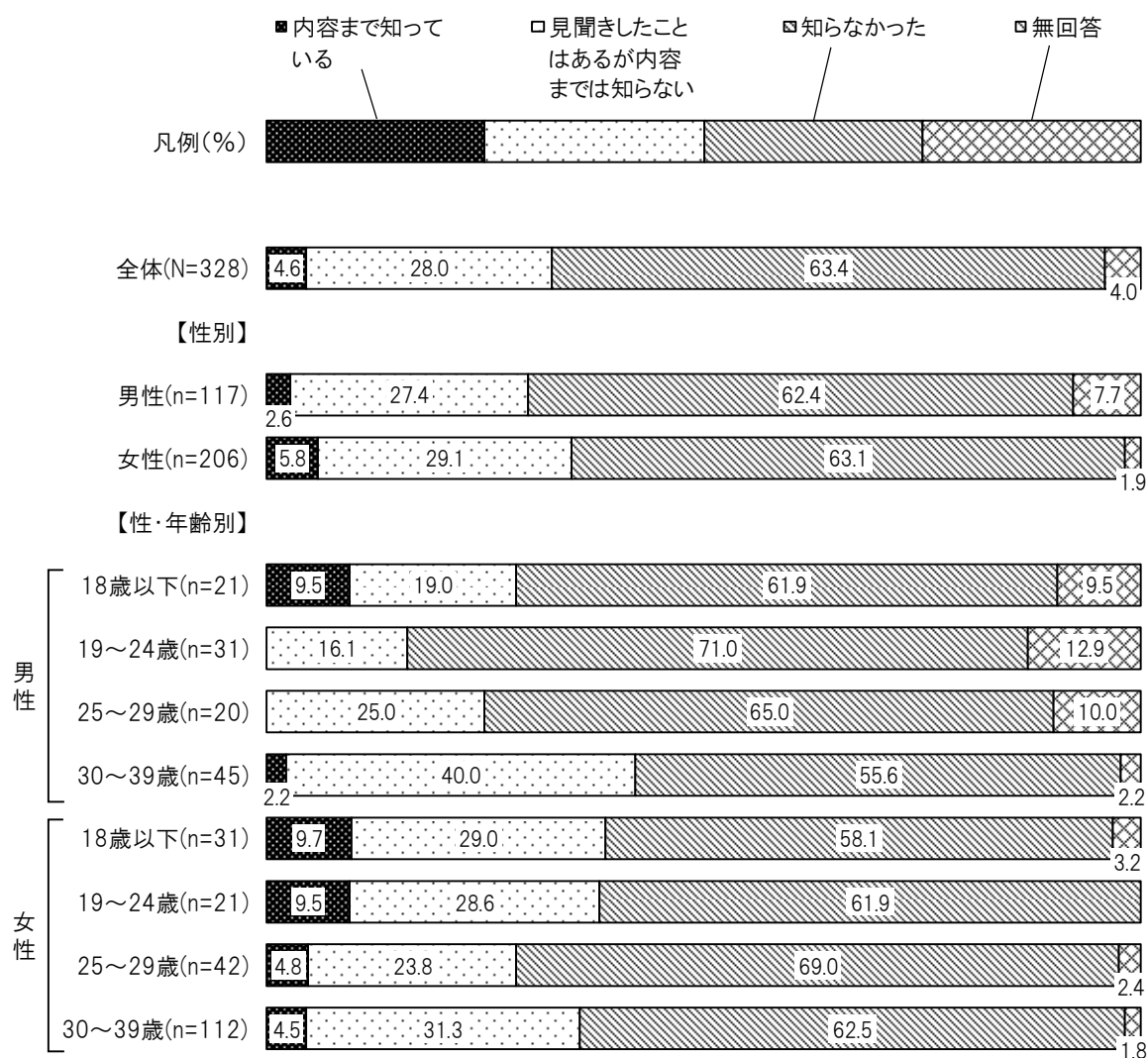


## 19 「こども基本法」の認知状況

「こども基本法」の認知状況については、「知らなかった」の割合が63.4%と最も高く、次いで「見聞きしたことはあるが内容までは知らない」(28.0%)の順となっており、「内容まで知っている」の割合は4.6%であった。

性別では大きな差はみられない。

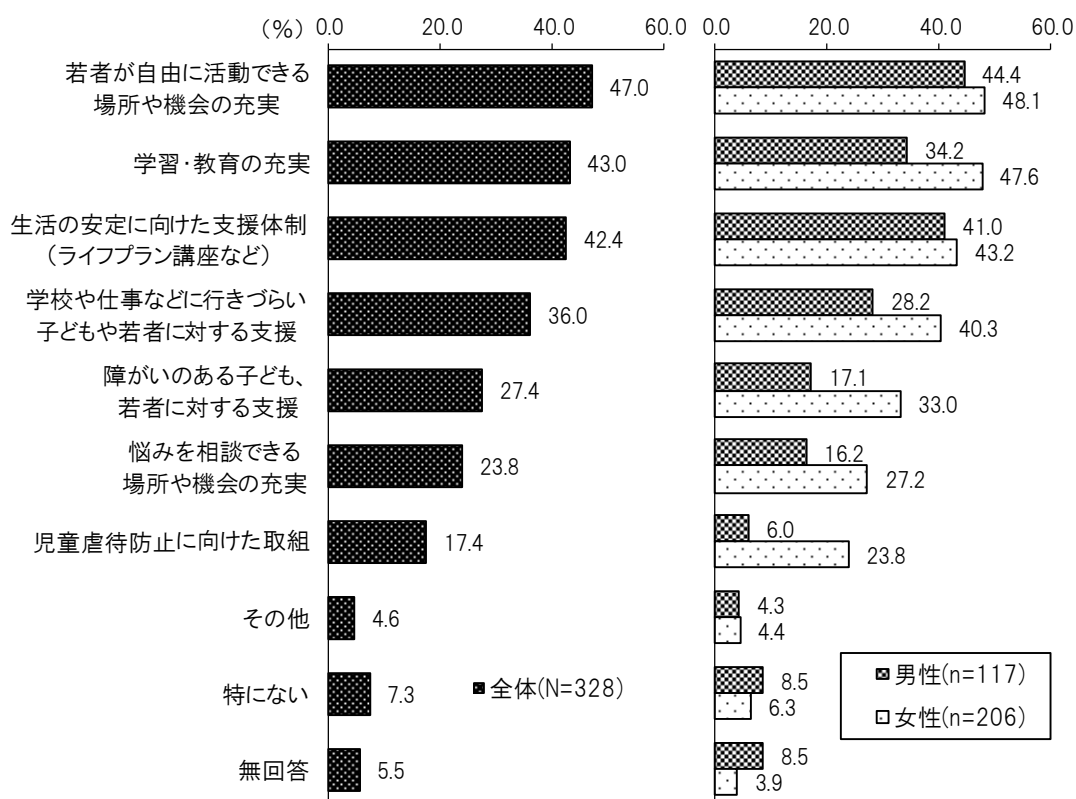
性・年齢別では、男性18歳以下や女性24歳以下で「内容まで知っている」の割合がやや高く、男性30～39歳で「見聞きしたことはあるが内容までは知らない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



## 20 市に取り組んでもらいたいこと

市に取り組んでもらいたいことについては、「若者が自由に活動できる場所や機会の充実」の割合が47.0%と最も高く、次いで「学習・教育の充実」（43.0%）、「生活の安定に向けた支援体制（ライフプラン講座など）」（42.4%）、「学校や仕事などに行きづらい子どもや若者に対する支援」（36.0%）の順となっている。

性別では、女性は「学習・教育の充実」「学校や仕事などに行きづらい子どもや若者に対する支援」「障がいのある子ども、若者に対する支援」「悩みを相談できる場所や機会の充実」「児童虐待防止に向けた取組」などの割合が男性を大きく上回っている。



四国中央市 市民の意識と生活に関するアンケート調査報告書  
－ 概要版 －

---

発 行 / 令和6（2024）年7月  
発 行 者 / 愛媛県 四国中央市 こども家庭課  
〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号  
電 話（0896）28-6027  
メー ル [kosodatekikaku@city.shikokuchuo.ehime.jp](mailto:kosodatekikaku@city.shikokuchuo.ehime.jp)

---